

『近江楽堂でのバロックアンサンブルコンサート』

《概要》

2021年11月15日に近江楽堂にてアンサンブルコンサートを開催する。

ソプラノ歌手の中山美紀さん、カウンターテナー歌手の新田壮人、チェンバロ奏者の上羽剛史さん、コルネット奏者の濱田芳通さんが出演するバロックコンサートである。このコンサートでは、出演者4名の共有のレパートリーであるパーセル、ヘンデルやモンテヴェルディ、スカルラッティ等イタリア・イギリスのバロック前期・後期の作品を取り上げ、約1時間半のプログラムを昼と夜で2公演行う。各メンバーが国内外で活躍するバロック音楽のスペシャリストである。

《目的・達成したい成果》

このコンサートを通じて、私たちが今まで日本、イタリア、スイス、オランダ、それぞれの国で学んできた演奏技術や演奏スタイル、経験してきたことをお互いに共有し、バロック音楽の本質について考えることでそれぞれが音楽家としての知識の幅を広げていく。そして、将来的にはオリジナルのバロック音楽を作り発表することを目的としている。さらに、演奏を通じて本質や魅力を伝えることで、これからバロック音楽を本格的に勉強したいと思っている人たちの海外進出への興味を喚起すると共に、日本のバロック音楽の普及に繋がりたいと考えている。

《将来の夢》

今後は、ヘンデルやパーセルのオペラ作品の研究とその実践的な経験を積むために、イギリス・ロンドンのロイヤル・オペラ・ハウスのアカデミーに所属したいと考えている。イギリスで演奏活動しつつ、定期的に日本でも海外での研究成果を今回のような演奏会や講習会という形で伝えていきたい。最終的には国内外の演奏活動に加えて、日本の音楽大学での教育活動に励み、バロック音楽の普及に貢献していけたらと思う。

《プロフィール》

新田 ^につた ^{まさ}と (カウンターテナー歌手)

国立音楽大学卒業、同大学院修了。第4回ベッラーノ国際オペラコンクール第3位。第10回東京国際声楽コンクール新進声楽家部門第1位及び東京新聞社賞。第34回ソレイユ音楽コンクール声楽部門第2位及び優秀賞受賞。第8回マリア・マリブラン国際オペラコンクール、第3回サン・コロンバーノ国際宗教曲コンクールファイナリスト。モスクワ国際音楽オンラインコンクール第1位及び特別賞。イタリア・ヴェルディホールで行われたミラノ音楽祭にて現代作曲家クルタッグ作曲の作品を取り上げた演奏会にソリストとして出演し、ヴェルディ交響楽団 La Verdi と共演。その他にもミラノ・スフォルツェスコ城、フランス・フレネ音楽祭にてアルトソリストとしてオーケストラ共演など、日欧で多数のバロック・現代曲の作品の舞台を踏み研鑽を積む。

スカラ座歌手ミルコ・グアダニーニ氏を始め、ジャンルーカ・カプアーノ氏、リッカルド・ドーニ氏等世界的に著名な音楽家とも数多く共演。2020年10月にはイタリアのアントニオ・ベッローニ劇場にてカウンターテナーでは初のソロリサイタルを行い、好評を博す。現在、ミラノ市立クラウディオ・アッバード音楽院修士課程バロック声楽専攻2年に在籍。Roberto Balconi、上杉清仁、Sonia Tedla Chebreab の各氏に師事。